

新門司マリーナの概要

1 経緯

- (1) 当マリーナを含む新門司2期埋立地は昭和54年12月に北九州港港湾計画で位置づけられ、昭和62年度から整備に着手し、平成3年11月に現況の施設整備を完成した。
- (2) マリーナの管理運営は、民間ノウハウを積極的に活用するため、平成2年12月に北九州市及び民間企業10社が第三セクター「新門司マリーナ株式会社」（資本金4.5億円）を設立し、平成3年8月から営業開始した。
- (3) 平成16年3月、新門司マリーナ株式会社は艇置契約数の伸び悩み等から累積赤字を抱え経営改善の見通しが立たないため、会社を解散し、管理運営業務を本市第三セクター「北九州埠頭株式会社」に営業譲渡した。
- (4) 平成27年4月、「日産マリーン(株)」から「(株)ササキコーポレーション」に、ハーバー管理業務の業務委託先が変更した。
- (5) 平成27年6月 (株)千草が営業終了（レストラン、ブライダル）した。
- (6) 平成28年1月 ギラヴァンツ北九州がクラブハウスに入居した。

2 施設概要

- (1) 名称：新門司マリーナ
- (2) 所在地：北九州市門司区新門司北二丁目1番地
- (3) 営業開始：平成3年8月
- (4) 面積

水域面積	5.2 ha
陸域面積	2.7 ha

- (5) 保管能力

海上保管	82隻
陸上保管	220隻
合計	302隻

- (6) マリーナ施設

整備主体 (現所有者)	施設	整備費(千円)
北九州市	防波堤 460m、切防波堤 55m、浮棧橋 3 基、給油棧橋 1 基、 ボートヤード、駐車場、緑地 揚降施設 2 基、船揚場 45m、給水施設、給電施設	3,480,000
新門司マリーナ(株) (北九州埠頭(株))	クラブハウス（床面積 1,225 m ² 、建築面積 1,125 m ² ）（レストラン、事務室、オーナーズルーム、シャワールーム、会議室等）	380,000
日産マリーン(株) (ササキコーポレーション(株))	修理工場（床面積 409 m ² 、建築面積 256 m ² 、クレーン 1 基） 給油施設（軽油 20kl、軽油 10kl、ハイオク 10kl）	110,000

(7) 営業内容

- ① ボート・ヨットの陸上艇置・海上艇置
- ② 各種プレジャーボート（新艇・中古艇）展示販売
- ③ 艇体・エンジン修理
- ④ マリン用品・部品販売
- ⑤ ボート免許講習（J E I S）及びボート保険
- ⑥ レストラン・プライダル（閉鎖）

(8) マリーナ利用時間等

定 休 日：水曜日（当日が祝日の場合は翌日、１２月～２月は火曜・水曜日）

3 施設の管理運営

- (1) 北九州市が、本市の第三セクター・北九州埠頭㈱に対して、行政財産である港湾施設（マリーナ浮さん橋、ボートヤード等）を使用許可し、同社が当該施設を利用して自社所有のクラブハウスと一体的に、新門司マリーナとして運営している。

〔北九州埠頭㈱概要〕

設 立 年 月 日 昭和３２年１０月３０日

主な業務内容

- ・ 港湾施設の維持管理に関する業務
- ・ 港湾施設性能維持に関する業務
- ・ 新門司マリーナ施設運営業務
- ・ 船舶給水販売業務
- ・ 電気工事業・機械器具設置工事業
- ・ 産業廃棄物収集運搬の事業

資 本 金 額 １０，０００千円

本市の出資額 ５，１２０千円（出資割合５１．２％）

- (2) 北九州埠頭㈱は、ササキコーポレーション㈱に対して、以下業務を委託している。

＜委託業務内容＞

- ① ハーバー業務
契約艇の艇置管理、舟艇の上下架、出入港管制等
- ② 施設管理業務
利用者の相談・受付、クラブハウスの運営、施設の維持管理等
- ③ 安全管理業務
利用者への関係法令・安全思想の普及、救急救難活動等
- ④ 海洋性スポーツ・レクリエーション振興業務
公共的行事の共同企画、実施、免許講習会、ヨット教室等の支援